

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	・校内見学及び授業参観への参加 ・令和6年度学校概要 ・各部（小学部、中学部、高等部）の教育について ・学校運営上の諸課題について ・令和6年度学校評価アンケート結果について
自己評価結果について	「指導方法の工夫」「通知表・連絡帳の活用」「安全・安心な教育環境整備」の項目で高い評価をいただいた。教職員が各学習グループの中で個を大切にした授業を工夫して行い、その様子を連絡帳や通知表を通して伝えようと努力した点、安全点検をきちんと行い、危険があった場合は直ちに必要な処置をとるようにしてきた点が高い評価につながったと思われる。 一方で、「センター的機能の充実」「進路情報等の提供」「関係機関との連携の取組」「保護者のニーズを取り入れたPTA活動」の項目は、「分からない」の選択肢に回答する方が多かったり、「よく当てはまる」の回答が他の項目と比較して少なかったりした。
今後の改善方策について	・センター的機能の充実、関係機関との連携の取組については、学校だよりやホームページ等で積極的に紹介していきたい。市の自立支援協議会に参加されているPTA役員の協力も得ながら、本校が地域の中で果たしている役割を保護者に伝えていきたい。 ・進路情報等の提供については、本年度のPTA総会時に進路指導の概要説明をしたり、各部対象の進路懇談会において進路指導主事から情報提供したりして、進路について保護者に考えていただく機会を設けた。保護者が知りたい進路情報を提供するためにも、担任が得た保護者の思いを、進路担当者に伝えるようにしていきたい。 ・保護者のニーズを取り入れたPTA活動は、高い評価をつけた方も多かったが、「分からない」に回答した方も多かった。広報を意識して行い、さらに保護者から理解を得られるようにしたい。
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）	・学校教育目標を常に念頭に置き、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでほしい。子どもたちは学校での学びを楽しみにしている。学校が家庭の次に安心できる場所であってほしい。学校設立から6年が一区切りなどとも言われる。節目の年を超えたところだが、設立の理念、思いを振り返り、取り組んでほしい。 ・チームによる授業づくりのアプローチが大変よいと感じた。個人の専門性だけでは難しいところがある。 ・「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」が2017年に厚生労働省より出された。意思形成、意思表明、意思実現の段階を踏んでいくという考え方が、学校教育にも取り入れていくとよい。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	学校関係者評価委員会の構成 … 学校評議員6名、校長、教頭、総括事務長、部主事 評価時期 … 学校評価計画（5月下旬） ・年間評価（2月下旬）